

令和元年12月12日

国土交通省

山形河川国道事務所

国道13号南陽登坂車線一部供用について

～米沢側0.48kmについて供用します。～

山形河川国道事務所では現在、南陽市赤湯 国道13号鳥上坂とりあげざかにおいて南陽登坂車線整備事業を行っています。

南陽登坂車線については、国道13号南陽バイパスと県道との交差部に位置し、交通要衝となっています。車両合流部付近では、急勾配であるため、走行速度が低下し、急ブレーキ及び追突事故が発生している状況となっています。また冬期間においてはスタック車両が発生し渋滞となる区間となっていることから平成30年度より整備を進めています。このたび米沢側（L=0.48km）区間について12月13日（金）より供用となりますのでお知らせします。今回の登坂車線の整備により、直進車両と合流車両が分離され交通事故の減少や渋滞の解消が期待されます。

■供用開始日時

令和元年12月13日午後（式典等はありません）

[発表記者会／山形県政記者クラブ 山形建設業界専門紙 米沢記者倶楽部]

【お問い合わせ先】

■事業に関する問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
TEL 023-688-8946

交通対策課長 ならおか 樽岡 たみゆき 民幸（内線471）

■工事に関する問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
米沢国道維持出張所 TEL 0238-37-5300

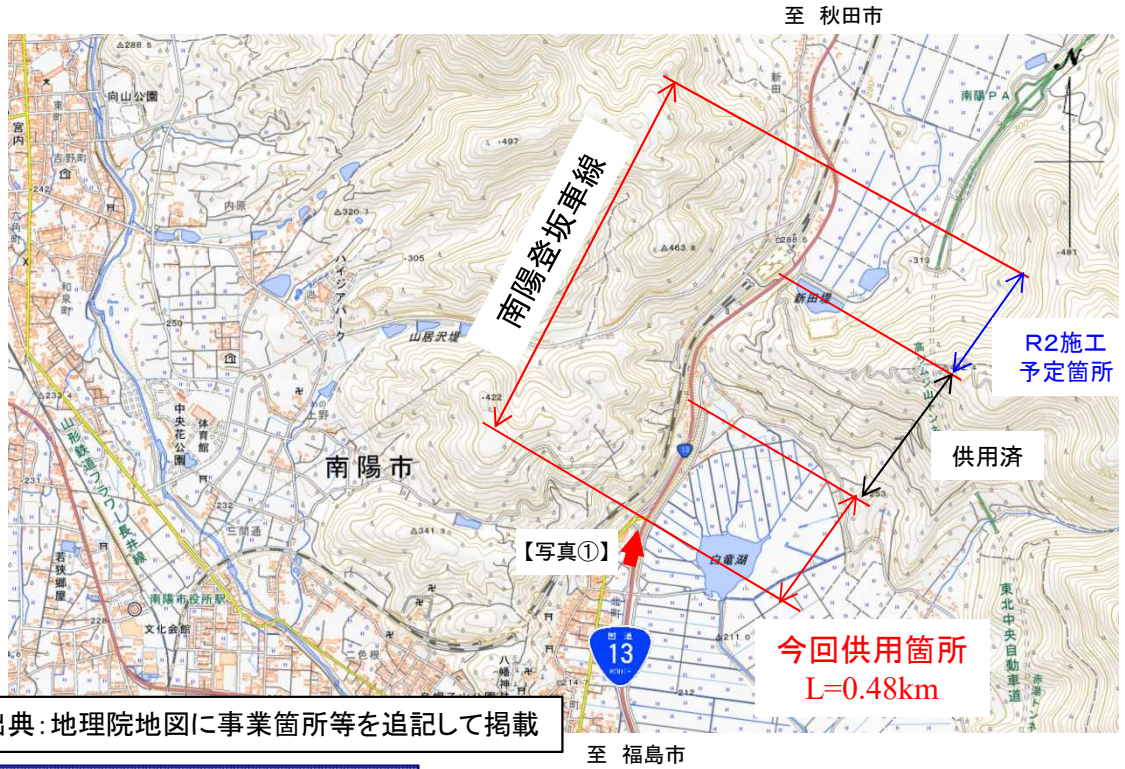
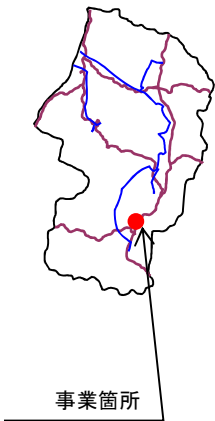
米沢国道維持出張所長 すがわらひろのぶ 菅原 弘信

国道13号 南陽登坂車線整備 山形県南陽市

事業の必要性

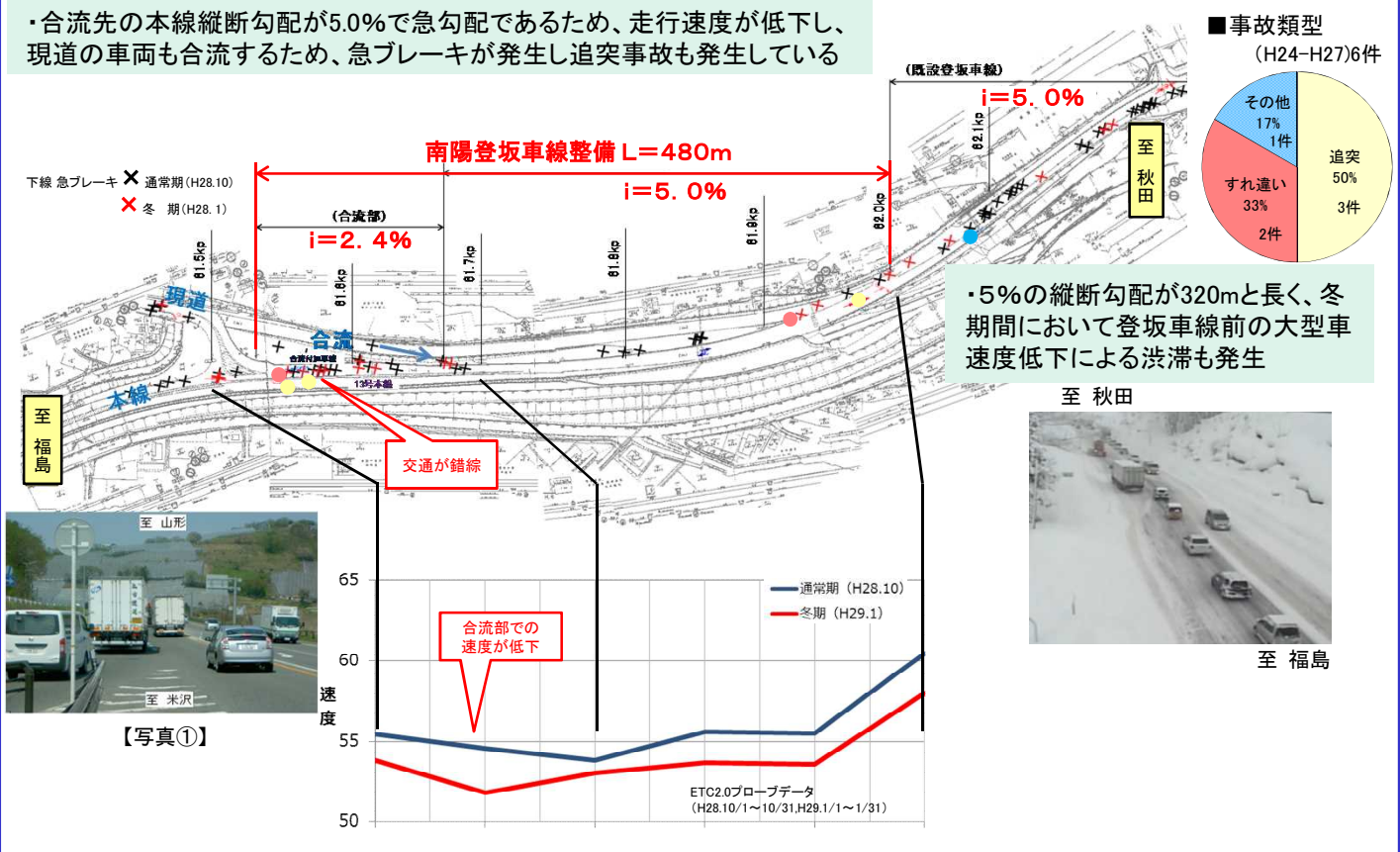
- ・当該箇所は、国道13号南陽バイパスと、県道の交差部に位置する交通要衝であり、車両合流部付近では交通が錯綜し、安全が確保されていない状況となっている。
- ・冬期間においては、スタック車両による渋滞が発生する区間となっており、早急な対策が必要である。

【位置図】



事故発生要因の分析・対処すべき課題

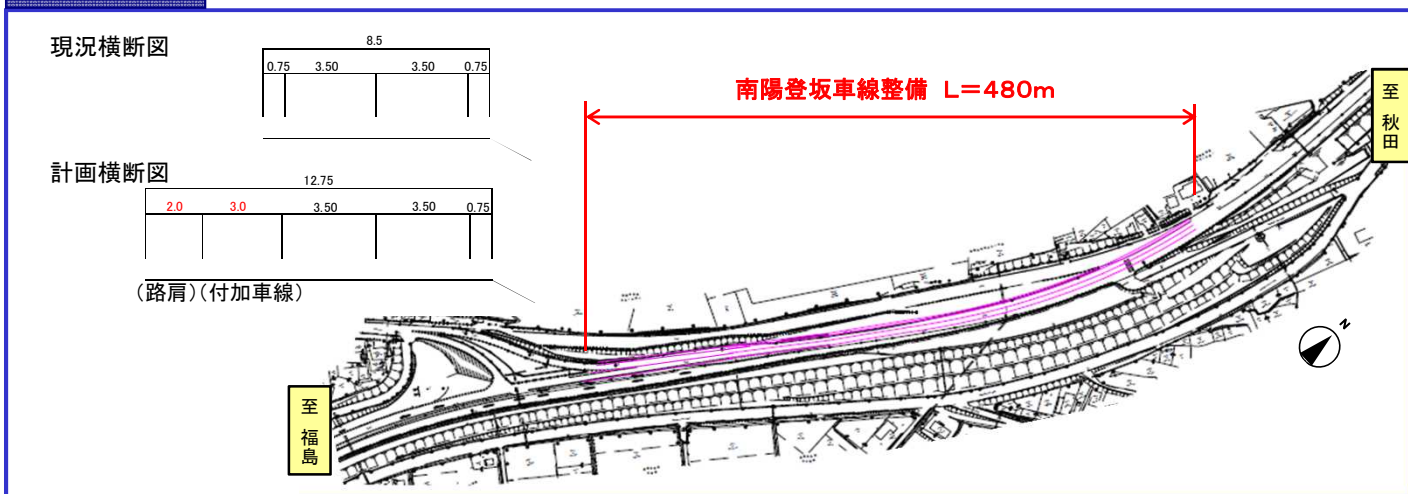
・合流先の本線縦断勾配が5.0%で急勾配であるため、走行速度が低下し、現道の車両も合流するため、急ブレーキが発生し追突事故も発生している



対策方針(対策にあたっての着眼点)

合流車両や急勾配による速度低下による車両の滞留が発生し、冬期間におけるスタックの発生もあることから、合流車両の円滑化及び車両の待避が可能な登坂車線の整備による課題の改善。

対策案



供用後の期待される効果

- ・供用後、直進車両と合流車両が分離され合流部や登坂部に起因する追突事故の減少や速度低下が改善し、道路交通の安全性及び円滑性の向上が期待される。

